

共同研究「GBL研究会」2010年度活動報告

代表 阿 部 博 友

本研究会は、本学および本学法科大学院の共同研究参加者をはじめとして、他大学教員や弁護士、その他企業法務責任者を中心に構成されている。本研究会の目的は、グローバルな企業活動によって生じる様々な法的問題の分析であるが、研究領域は国際取引法の枠にとどめず、国際経済法、国際環境法や知的財産権法など幅広い課題にとり組んでいるのが特色である。毎月研究会を開催しているが、各回の討議内容は発表者がレクシス・ネクシス・ジャパン社のビジネス・ロー・ジャーナルに論文を寄稿する形で公表することとしている。2010年4月以降の寄稿論文は下記の通りである。

- 2010年4月号 オープン・イノベーションとこれからの日本企業の知財戦略 牧野和夫 大宮法科大学院教授
- 2010年5月号 欧州法上の会社本店の移動 小梁吉章 広島大学法科大学院教授
- 2010年6月号 契約実務から見た不実表示における取消権問題 河村寛治 明治学院大学法科大学院教授
- 2010年7月号 我が国における著作物の並行輸入とその問題点 浅井敏雄 シャネル株式会社法務部長
- 2010年8月号 普通取引約款による取引と欧州の約款規制法 鈴木雅人 弁護士
- 2010年9月号 債権法改正における債権者の損害軽減義務 三木千穂 静岡英和学院大学専任講師
- 2010年10月号 債権法改正における事情変更法理の条文化に関する提案 井原宏 弁護士
- 2010年11月号 債権法改正における契約解除権についての改正提案 河村寛治 明治学院大学法科大学院教授
- 2010年12月号 欧州会社法制における労使協議と従業員の経営参加 小梁吉章 広島大学法科大学院教授
- 2011年1月号 商標権および特許権と並行輸入 浅井敏雄 シャネル株式会社法務部長
- 2011年2月号 動画共有サイトの著作権侵害責任（上） 林大介 NY州弁護士
- 2011年3月号 動画共有サイトの著作権侵害責任（下） 林大介 NY州弁護士

なお本年度は、特に「生物多様性条約」のビジネスに与える影響を重点的に検討し、2010年10月に名古屋で開催された生物多様性条約COP10（第10回締約国会議）にオブザーバー参加した。これに関連して、商事法務研究会が出版する法律誌NBLに下記の連載を行った。

共同研究：GBL研究会

NBL第933号

生物多様性条約における遺伝資源をめぐる問題の現状と展望

第1回 遺伝資源の取得・利益配分のための国際レジームにおける基本的課題

NTT弁護士・筑波大学名誉教授 井原 宏

NBL第934号

生物多様性条約における遺伝資源をめぐる問題の現状と展望

第2回 「遺伝資源へのアクセスと利益配分（ABS）」にかかわる紛争およびその解決における課題

明治学院大学法科大学院教授 河村寛治

NBL第936号

生物多様性条約における遺伝資源をめぐる問題の現状と展望

第3回 名古屋議定書案の特異な構造とその概略

上智大学大学院教授 磯崎博司

NBL第937号

生物多様性条約における遺伝資源をめぐる問題の現状と展望

第4回・完 ブラジル環境法制と国内ABS法の現状

明治学院大学法学部教授 阿部博友